



## 第9回宝の都(くに)・活性化貢献賞

受賞団体	活動概要
学校法人古川学園 古川学園高等学校 吹奏楽部	地域に愛されるバンドになることを目標に、地域イベントへ積極的に参加し、市内全域の地域振興に貢献。
古川長岡地区 地域づくり協議会	地域の住民や団体と連携し、行政との協働による明るく豊かな地域づくりを基本理念に活動を展開。
羽黒山を きれいにする会	長年にわたり、羽黒山の清掃活動を実施し、彼岸花の管理や環境保全、地域活性化に尽力。
特定非営利活動法人 シナイモツゴ郷の会	子どもたちとの稚魚放流や外来種駆除、ため池の保全活動を実施し、長年にわたり、シナイモツゴの保存活動に尽力。
鳴子岬地域づくり ネットワーク	鳴子温泉の魅力を発信するため、東北管内のダムとしては初となった鳴子ダムの選奨土木遺産認定に貢献。
田尻公共交通 運営委員会	平成23年度に予約型乗り合いタクシーをスタート。平成27年度からはフルデマンド方式を導入し、地域の公共交通として貢献。



大崎市の未来に向け、夢や希望を発表してくれた古川第一小学校と三本木小学校の6年生の皆さん(写真:左から古川第一小学校の佐々木莉乃さん、深澤翔太さん、平塚大翔さん、伊藤市長、三本木小学校の高橋凜花さん、遠藤晴さん)



グローバルな視点から世界の中の日本を捉え、21世紀における日本社会のあり方、成長をもたらす産業などについて、熱くお話しされた小宮山宏氏



おおさき宝大使のさとう宗幸さんが、自身が作曲した大崎市民歌を熱く歌いあげる



大崎市の地酒で乾杯!

## 輝かしい 新年の幕開け

第9回宝の都(くに)・  
活性化貢献賞贈呈式

新春講演会

新年祝賀会

1月4日、大崎市の年明け恒例となった、宝の都(くに)・活性化貢献賞贈呈式、新春講演会、新年祝賀会が開催されました。

第9回となった宝の都(くに)・活性化貢献賞には6団体が選出され、伊藤市長から功績を顕彰するトロフィーが贈られました。

また、昨年11月に行われた「おおさき子どもサミット」に参加した

古川第一小学校と三本木小学校の児童の皆さんから、大崎市へのまちづくりの提言を発表してもらいました。

新春講演会では、プラチナ構想ネットワーク会長(株)三菱総合研究所理事長・第28代東京大学総長である小宮山宏氏による「プラチナ社会の実現と持続可能な林業」と題した講話をいただきました。

新年祝賀会には、約500人も皆さんが出席しました。オープニングでは、おおさき宝大使のさとう宗幸さんによる「大崎市民歌」が披露されました。

また、「大崎市地酒で乾杯を推進する条例」にのっとり、地酒で乾杯を行い、輝かしい新年の幕開けに、大崎市の飛躍を大いに語り合いました。

昨年12月に行われた大崎市議会第4回定例会で、「大崎市地酒で乾杯を推進する条例」が可決され、同日施行されました。市内で行われるさまざまな会食や酒席で乾杯を行う際は、積極的に大崎市の地酒で乾杯しましょうというものです。

くりに、地域経済の活性化を推進することがねらいです。

本市には、日本酒、味噌、醤油、納豆などの「発酵」による食産業が古くから根付き、現在も、ヨーグルト、パンなどを始め、多くの醸造発酵産業が集積しています。

また、市・商工団体・観光物産団体・農業団体などにより、平成23年に設立された「大崎市シテイプロモーション推進協議会」を中心に「みやぎ大崎ふつつ共和国」として、大崎

市の発酵文化を広く発信していきます。パタ崎さんも、みやぎ大崎ふつつ共和国の広報大使として、がんばっています。

お祝いの席で、会社の仲間や気の合う友人たちとの酒席の場で、積極的に大崎市の地酒で乾杯しましょう!

お酒は嗜好品です。飲めない人や好みではない人に強要するものではありません。

大崎市地酒で乾杯を推進する  
条例が施行されました

発酵で農業を、経済を、市民を元気に  
**大崎市の地酒で乾杯!**

産業政策課新産業・グリーン  
エネルギー推進室 ☎23-2281

みやぎ大崎  
ふつつ共和国

